

市政懇談会

盛会のうちに終了

住民の生の声を聞き、これを市政推進に役立てることは、「開かれた行政」の基本的な手段でありこのような意味から、毎年各地区ごとに市政懇談会が開かれていま

す。五月十七日、禾生地区をかわきりに始まったこの催しには、各界の市民が参加し、五月二十八日の東桂地区で終了しました。

この間約六百人の市民の参加を得て、二百件を超える意見、要望が提示されました。

もちろん、これらの意見、要望がすべて、速やかに解決できる訳ではありませんが、行政運営上大

いに参考となる重要な課題が多く寄せられたことに、感謝申しあげます。



みんなが「ゴミ監視員」に！

市政懇談会の席上、環境美化についての苦情、ご意見のなかで、河川の汚れについては、家中川等の下流域住民から多く出されました。家庭雑排水による汚れもさることながら、ビニール、はつばうスチロール、空きカンによる汚れは特にひどく、側溝、よどみ等に浮遊するその様は目に余るものがあります。

住民一人ひとりが河川をきれいにする意識をもつと同時に、「ゴミ監視員」という認識をもって、河川へのゴミの不法投棄を監視しその現場を目撃したら、注意する勇氣をもちましょう。

社会共通の資本である河川をきれいにすることは、わたくしたちの務めであります。

六年続きの環境美化作業

小形山子ども会

今、山梨県や都留市では「町の環境美化」「ふるさとづくり」を提唱し、強気に推進しています。小形山子ども会でもこの運動に呼応する様に、六年前から子ども会活動の一つとして、神社の境内を中心として清掃活動が続けられています。

今年も四月の子ども会総会において清掃作業を実施することが決まり、毎月第一日曜日を清掃の日と定め、朝六時半から作業が行われています。

日曜日の朝、静かな冷たい空気をうちやぶって、元気よい呼び声があちこちに響きわたり、ほうきや草かじりをもった小中学生が、お宮めざして集まっています。

会長(岩瀬長治、都留二中三年)の元気のよいあいさつで清掃作業がはじめられ、草を取るもの、ほうきではくもの、境内や道路はた

みなさんのご意見をお寄せください。市への要望や日ごろ感じたことなど何でも結構です。

また、地域の問題も募集しますのでお知らせ下さい。こちらから取材にうかがいます。

企画課広報係 ☎ (3) 1111



境内を清掃する子ども達

ちまちきれいになっていきます。地区の大人の人も現在の中小学生の非行問題を受けてか、「社会奉仕をよるこんでする子に悪人はない」といって、子ども会の清掃作業をよるこんでいます。

また、ある母親は、「いつもねぼうの子が、お宮の掃除には一人で起き出してゆく」と満足そうに話していました。

私も、この清掃活動をみていて初めの頃は、同じ学年の子が集まって、作業よりおしゃべりが多く、作業をしようなどという気持は見られませんでした。

けれどもこの頃は分担がきめられたかのように、そこへいつはせつせと清掃がすすめられ、また大きい子や早く自分の所の終わった子は、小さい子の集めたゴミや草を運んでやるなど、協力性や友情の表われを感じる様になりました。

このようにして、連帯感や郷土愛の向上と共に、学年集団から遠年齢集団へと移り変わり、活動が協力的、積極的になってきています。

現在の若者などの精神的地域ばなれが問われるとき、小さい時からこの様な活動は地域への愛着心を高め、協調性や連帯感を向上させ、心のやさしい、よき社会人として成長するだろうと思います。

「ふるさとづくり」もこの様な心情が育ったとき、強かに推進されるであろうと考え、子ども会の自主的活動は最も大切であると思います。

小形山子ども会の活動がますます活発になるとともに、他の子ども会の地域活動がますます盛んになることを願うものであります。

都留市青少年育成推進委員
平井 幸成